

第 60 期

第 2 四 半 期 株 主 通 信

2020年4月1日～2020年9月30日



P1 → 社長インタビュー
コロナ禍における当社の取り組み



P4 → TOPICS
ジヤトコ株式会社様より
リージョナル特別賞を受賞しました



P6 → 特集

TAKAMAZ FA SOLUTIONS FAIR 2020 On The Web
バーチャル展示会をオープンしました

当第2四半期は厳しい経済環境にありましたが、ICTを活用するなどコロナ禍に適した営業活動により、お客様との新しい接点を増やすことができました。

下期も需要確保に努めつつ、今後の景気回復を見据えて更に経営基盤の強化をはかり、全社一丸となって事業戦略に取り組みます。

代表取締役社長 高松宗一郎

Q 第2四半期業績について お聞かせください。

新型コロナウイルス感染症の流行は世界経済を急激に悪化させ、想定以上の影響を与えました。また、景気先行きに対する警戒感が強く、極めて厳しい状況が続いています。

当社グループの主力事業である工作機械業界においても、先行きの不透明感から設備投資の慎重姿勢が継続したことで需要が低迷しました。この状況を受けて(一社)日本工作機械工業会では、2020年暦年の業界受注総額見通しを1兆2,000億円から約29%減少となる8,500億円に下方修正しました。

当社におきましても、受注高が13億7百万円(前年同期比68.0%減)にとどまり、受注残高も39億71百万円(同71.5%減)まで落ち込みました。

売上高は、前期末の受注残高が貢献したものの、キャンセルや受注減少が影響し、72億61百万円(同36.4%減)となりました。利益面では、生産調整や残業抑制、原価低減や経費削減、役員報酬カットなどの施策に取り組んできましたが、売上高減少の影響が大きく、営業利益は1億42百万円(同85.4%減)、経常利益は1億96百万円(同81.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は34百万円(同95.3%減)の減益となりました。

Q コロナ禍において、どのような 取り組みを行いましたか。

当社では従業員や関係者皆様の健康と安全のため、新型コロナウイルス対策ガイドラインを策定しました。マスク着用や検温のほか、時差休憩や2チームに分けた勤務体制などを実施し、感染予防に努めています。

営業面では、移動自粛や対面営業の減少など、従来の営業活動が制限され、また主要な展示会が中止となったことに対応し、製品や技術をアピールするためにICTを活用した営業戦略の推進をはかってきました。

その一つとして、YouTube公式チャンネルを開設しました。これまで展示会等でしか確認できなかった新機種や加工技術の動画を、いつでも視聴できるようにしました。

また当社ホームページ上にバーチャル展示会をオープンし、9月にはオンライン新製品発表会を開催しました(詳細は、6ページ「特集」をご覧ください)。

遠隔地のお客様ともコミュニケーションをとれるよう、Web会議やWeb立会などにも取り組んだ他、オンライン加工相談やメールによる定期的な情報提供を行っています。



Q 先行きの見通しと今後の取組みについて、お聞かせください。

新型コロナウイルス感染症の収束時期ははまだ見えず、景気の先行きを見通すことが困難であります。当社グループの第60期業績は、第2四半期の受注低迷が影響し、第49期以来11期ぶりに営業損失となる見通しです。また、このような経済環境を勘案し、中期計画2021で掲げる定量目標の取り下げを決定しました。

しかし足元では、工作機械需要が底打ちし、持ち直しへの動きも見受けられます。新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しつつ対面営業の強みを発揮していくとともに、オンライン商談

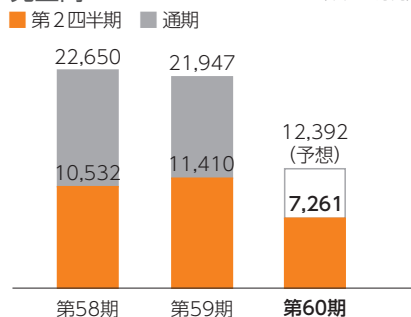
も更に活用し、ニーズを満たす提案型営業を積極的に推進することで潜在需要の取り込みをはかります。

需要はまだ低迷していますが、新工場は、将来を見据えた当社グループの「新たな成長戦略」実現のために必要な投資であります。「挑戦し、成長し続ける企業」であることを志向し、2022年操業開始に向けて準備を進めていきます。

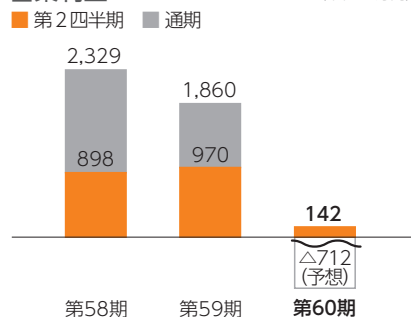
当社グループは、需要回復期に備えた施策の推進、中長期的な企業価値向上をはかる戦略の推進等、今なすべきことに全社一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご指導を心よりお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

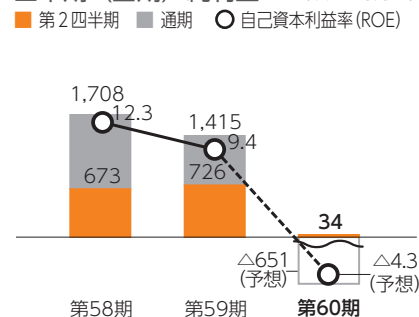
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益



セグメント別概況

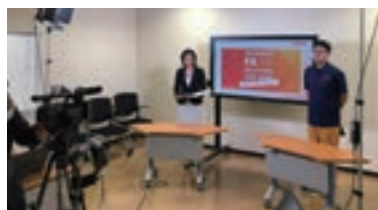
第60期第2四半期
売上高構成比



工作機械事業

売上高 **6,170**百万円
(前年同期比 39.0%減)

営業利益 **79**百万円
(前年同期比 90.8%減)



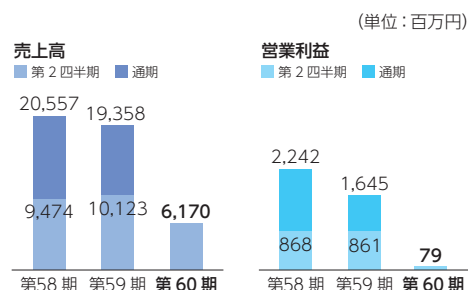
営業面では、コロナ禍によって営業活動が制限される中、ICTを活用し、顧客との関係維持、受注の確保に努めてきました。

また9月に開催したオンライン新製品発表会では、「XT-8MY」「XYT-51 新型ガントリーローダ搭載モデル」の2機種を発表しました。

地域別の売上高は、全ての地域で減少が見られた結果、内需が43億34百万円(前年同期比31.8%減)、外需が18億35百万円(同51.3%減)、外需比率が29.8%(前年同期は37.2%)でした。

生産面では、必要に応じた生産調整を行いつつ、短納期等のユーザーニーズに対応した最適生産

の実施に努めてきました。また、需要回復期に迅速な対応と更なる生産対応が可能となるように、生産性の向上にも取り組んできました。



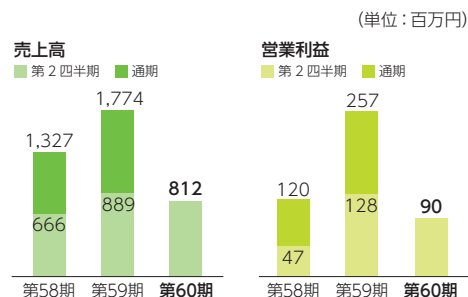
IT関連製造装置事業

売上高 **812**百万円
(前年同期比 8.7%減)

営業利益 **90**百万円
(前年同期比 30.1%減)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、半導体関連やその他の既存取引先から安定した需要が継続したことにより、売上高は堅調に推移しました。

利益面では、売上製品構成比率の変動および販管費の上昇等が影響し、減少しました。



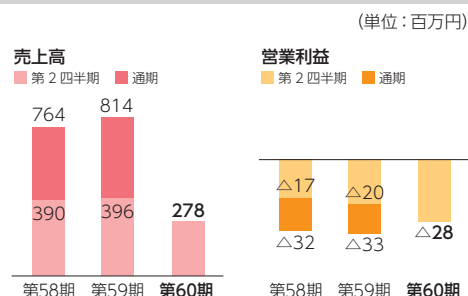
自動車部品加工事業

売上高 **278**百万円
(前年同期比 29.8%減)

営業利益 **△28**百万円
(前年同期は △20百万円)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、自動車メーカーが相次いで生産調整を行ったことで、自動車部品の需要が減少しました。7月以降は需要が回復したものの、生産調整による減産分を補うまでには至らず、売上高が大きく減少しました。

また、売上高の減少に伴い、営業利益も減少しました。



リージョナル特別賞受賞

主要なお客様である自動車用変速機専門メーカー、ジャトコ株式会社様より、リージョナル特別賞を受賞しました。

ジャトコ株式会社様の中国新工場設立の際に当社製品が導入され、加工ラインの立ち上げ協力への貢献が評価されての受賞となりました。

今後も、お客様のお役に立てるよう、最新技術を生かした設備の提供やアフターフォロー等に、より一層努めていきます。



こども食堂応援定期預金



当社は、株式会社大和ネクスト銀行様の「こども食堂応援定期預金」をしました。

この預金は、食事を通じて子供たちを支援する「こども食堂」の運営・新設を応援します。当社は「SDGs目標の達成に貢献する」という同行の理念に賛同し、預金を決定しました。

世界が丸となって、持続可能な開発目標であるSDGsに取り組む中、当社も一企業として真摯に向き合うべきと考えています。今後も新たな分野にも目を向け、SDGs達成に向けた取り組みを行っていきます。

JIMTOF2020 Online出展

当社は11月に開催されたJIMTOF2020 Onlineに出展しました。

JIMTOFは2年に1度開催される、アジア最大級の工作機械・関連製品の展示会ですが、今年はオンラインという新たな形での開催となりました。

当社ページでは最新機種「XT-8MY」をはじめとした計5機種をご紹介します。

対面での営業活動が制限される中で、今後もオンラインを活用しながら、積極的にPRを行っていきます。



JIMTOF2020 Online

YouTube公式チャンネル開設

当社はこの度、YouTubeに公式チャンネルを開設しました。

新型コロナウイルスの影響を受け、展示会等が中止となる中、当社の製品をより広く知っていただくことを狙いとしています。

新機種や加工情報、メンテナンス関連など、お客様に有益となる動画を公開し、今後もますます充実させていく予定です。

QRコードから、ぜひご覧ください！



新型コロナウイルス対策取組宣言

当社は石川県が推進する「新型コロナ対策取組宣言」を行っています。公式の宣言書を社内に掲示することで、感染防止対策の徹底を周知し、お客様が安心して利用できる環境としています。

感染防止対策として、石川県が定めた各業種共通の取り組みに加え、社員の行動履歴の把握、時差休憩の実施、2チームでの勤務体制など独自で定めた対策を実施しています。

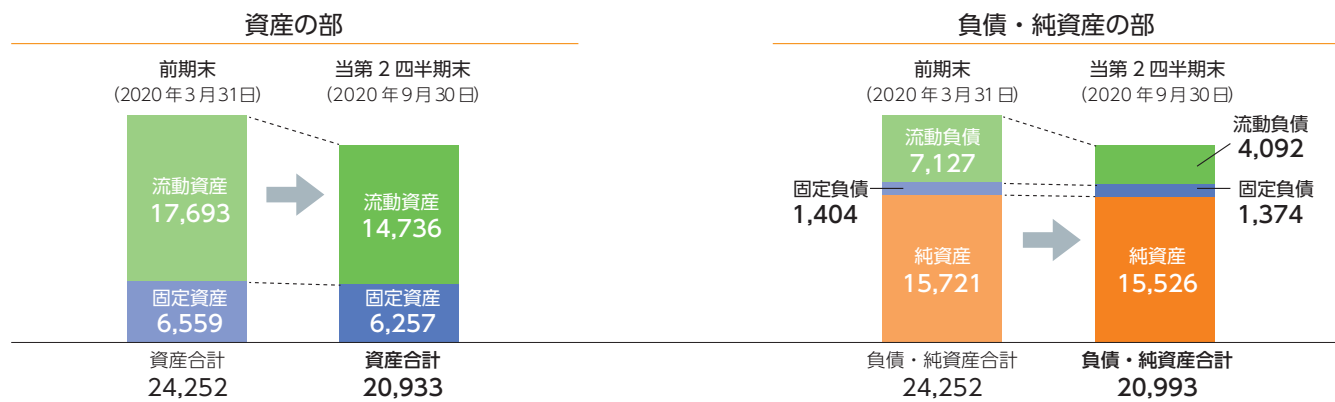
今後も定期的に対策を見直しつつ、会社全体として徹底した感染予防に努めていきます。



第2 四半期連結財務諸表

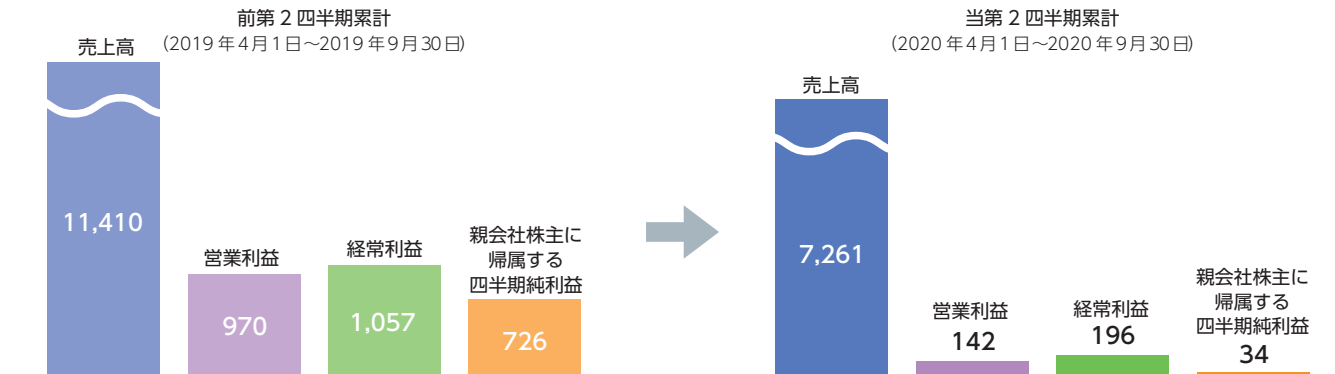
四半期連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



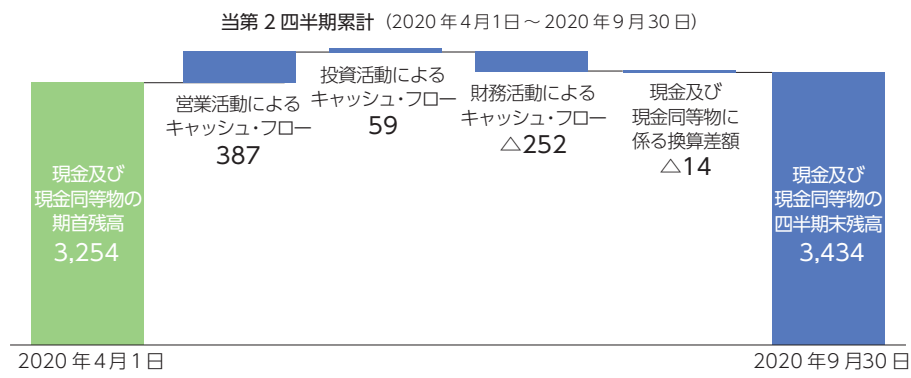
四半期連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



▶▶▶ 財務情報のご案内 ◀◀◀

詳細な財務情報は、当社IRサイトよりご覧いただけます。

IR・投資家向け情報

Click!

<https://www.takamaz.co.jp/ir/>



特集：TAKAMAZ FA SOLUTIONS FAIR 2020

TAKAMAZ FA SOLUTIONS FAIR 2020 *On The Web*

当社HPにて、展示会に出展予定だった新製品や加工技術を紹介する場として、バーチャル展示会を開催しています。対面での商談や展示会が規制される中、バーチャル展示会は、いつ、どこにいてもアクセス可能であるため、より幅広い方々に当社製品について知っていただけるチャンスととらえています。

当社の本社所在地である石川県をイメージさせるオリジナルのデザインで、見た目にもお楽しみいただける展示会となっています。



バーチャルブース

新製品 XT-8MY



オンライン新製品発表会

9月24日、YouTube を利用したオンライン新製品発表会を開催しました。

発表会は全3回の配信を行い、申込みのあった多数のお客様にご視聴いただきました。

「複合加工と自動化」をテーマに開発した新製品2機種や、最新加工方法、当社オリジナルコレットチャックについて、当社社員の専門的な解説を交えながらプレゼンテーションや動画により、わかりやすくお伝えしました。

お客様からは大変ご好評をいただくことができ、絶好のPRの場となりました。



NEW

XT-8MY

自動化に対応したベーシックな複合加工機が新登場

自動車産業のニーズをとらえ、ベーシックな複合加工機「XT-8MY」を開発しました。小物部品からシャフトワークまで幅広い複合加工を可能としながら、クラス最小のフロアスペースを実現しました。当社の新型ガントリーローダを搭載するとともに、稼働時の様々な支援機能や状況の監視機能などを追加しており、生産性向上に寄与します。



NEW

XYT-51 ガントリーローダ搭載

工程集約と自動化を両立し、高い生産性を実現

工程集約のニーズに応える「XYT-51」に新たにガントリーローダが搭載可能となりました。ローダは機械上部の空間を利用することにより、設置面積をコンパクトに抑えることができるほか最短ルートで加工物を効率よく搬送します。素材供給から完品加工、排出まで省人化が可能で高い生産性を実現します。



用語解説

●シャフトワーク

棒状の回転部品。

●複合加工機

1台で数種類の加工を行うことができる工作機械。

●ガントリーローダ

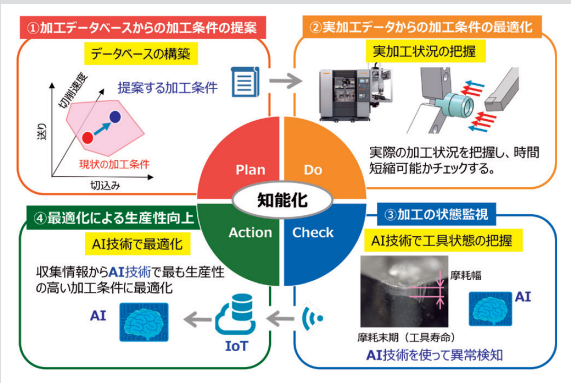
加工物を搬送する門型の装置。

当社研究に対し、いしかわ次世代産業創造ファンドからの助成が決定

石川県と県内の金融機関が出資する「いしかわ次世代産業創造ファンド」において、当社が実施予定の研究が採択されました。

採択された研究のテーマは「AI機能を用いた工作機械の加工最適化システムの開発」です。

機械部品を切削加工する際の条件をデータベース化し、AI機能を用いた加工時の工具刃先等の状態の監視を行い、これらの情報をIoTを活用し収集することで生産性の高い工作機械の加工条件を提示するシステムの構築を目指します。

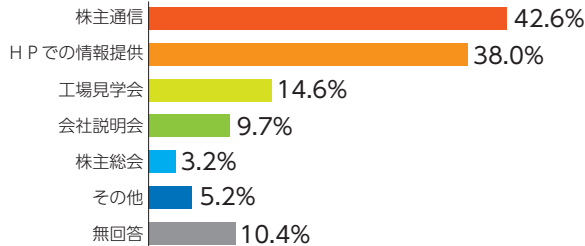


アンケートのご報告

単元株主様の第59期株主通信に同封しましたアンケートにおきましては、たくさんのご回答をいただき誠にありがとうございました。
アンケートの集計が完了しましたので、その一部ですがご報告させていただきます。

単元株主数	3,060名
アンケート回答数	1,039名
アンケート返信率	34.0%

Q. 当社のIR活動について充実を希望することは何ですか？ (複数回答可)

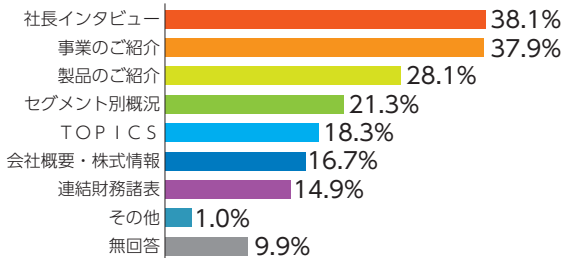


「いただいたご意見」

- 社長さんの動画や考えを聞けるものを随時H P にアップしてほしい。
- 今後も親しみやすいIRを期待します。

株主通信、H P での情報提供と答えた方が大半を占める結果となりました。
今後も、当社のことをよりご理解していただけるよう、各種媒体を活用し、随時情報発信を行っていきます。

Q. 株主通信の中でどの記事に興味を持たれましたか？ (複数回答可)



「いただいたご意見」

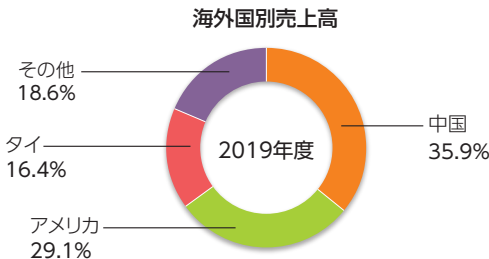
- 内容が充実していてよかった。
- 株主通信により、十分に事業が理解でき愛着を感じています。

社長インタビュー、事業のご紹介の記事がほぼ同率一位となりました。
特集として当社の事業をご紹介しましたが、これまで当社の事業について知らなかった株主様にも、ご理解していただけるページとなりました。

いただいたご質問にお答えします

Q. 高松機械の外需の内訳が知りたいです。

- A. 当社の 2019 年度の海外売上高の内訳は、右のグラフの通りです。中国、アメリカ、タイの3か国で全体の約4分の3を占めています。
海外については新興国を中心により一層の伸びしろを見込んでおり、需要拡大に向けた取り組みを推進しています。



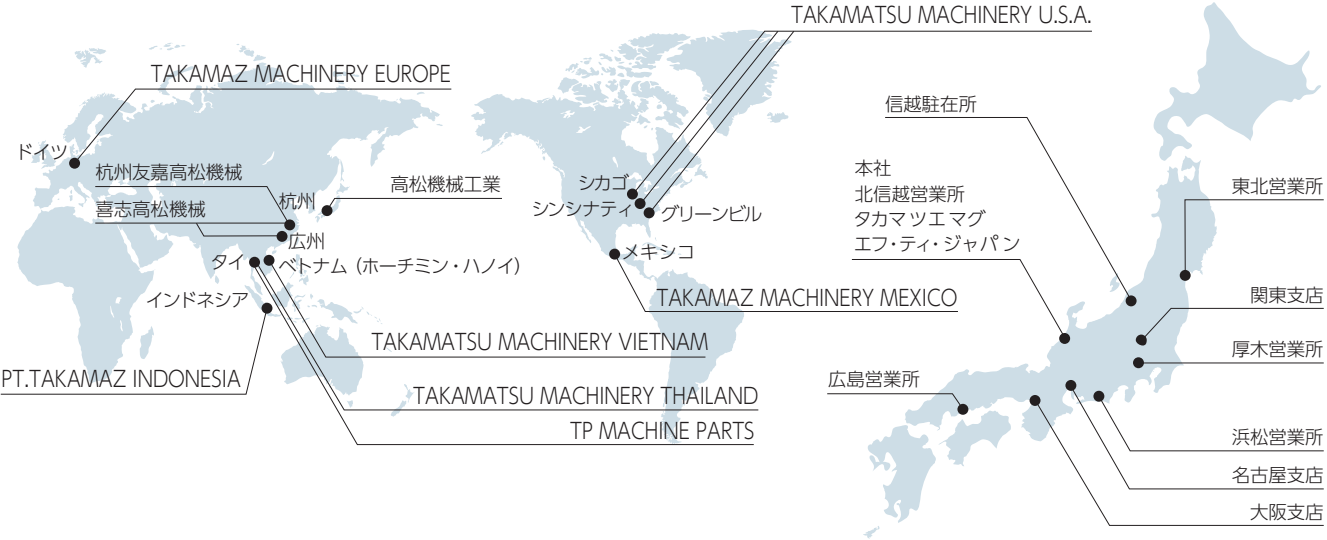
会社概要

商 号	高松機械工業株式会社
英 文 商 号	TAKAMATSU MACHINERY CO., LTD.
設 立	1961年7月
資 本 金	18億3,539万円
本 社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従 業 員 数	564名
事 業 内 容	・ CNC旋盤等の製造、販売およびサービス・メンテナンス ・ 部品、コレットチャック等の製造、販売 ・ IT関連製造装置の製造 ・ 自動車部品の加工
ホ ー ム ペ ー ジ ア ド レ ス	https://www.takamaz.co.jp

役 員

代表取締役会長	高 松 喜 与 志
代表取締役社長	高 松 宗 一 郎
常 務 取 締 役	徳 野 穰
常 務 取 締 役	磯 部 稔
常 務 取 締 役	四 十 万 尚
取 締 役	溝 口 清
取 締 役	村 田 俊 哉
取締役（社外）	中 西 祐 一
取締役（社外）	石 原 多 賀 子
取締役（社外）	池 元 こ と み
常 勤 監 査 役	成 田 秀 信
監査役（社外）	杖 村 修 司
監査役（社外）	高 井 和 男

ネットワークとサービス体制



株式の状況

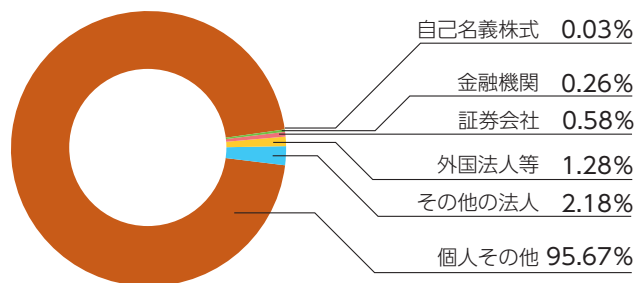
発行可能株式総数	30,000,000 株
発行済株式総数	11,020,000 株
1単元の株式数	100 株
株主数	3,441 名

大株主

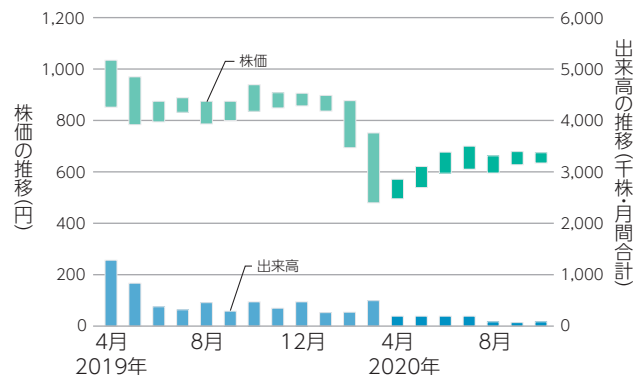
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
高松機械工業取引先持株会	957	8.78
株式会社タカマツ	810	7.43
北国総合リース株式会社	433	3.97
株式会社北国銀行	408	3.74
日本生命保険相互会社	384	3.52
明治安田生命保険相互会社	360	3.30
株式会社朝日電機製作所	355	3.26
高松明毅	330	3.03
高松機械工業社員持株会	318	2.92
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	317	2.91

(注) 持株比率は自己株式(114,745株)を控除して計算しております。

所有者別株主数比率



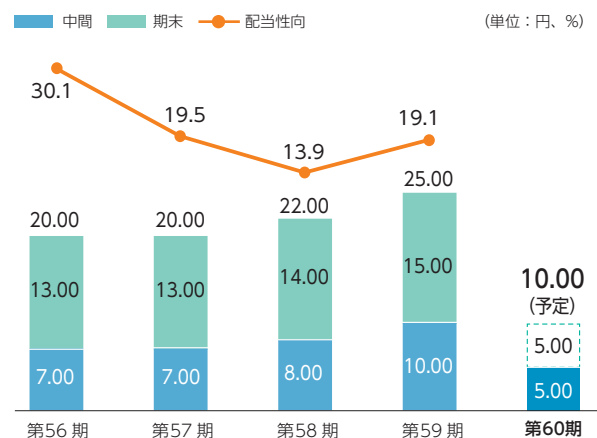
株価・出来高の推移



配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、安定的な配当水準を維持していく方針です。また、将来の利益の成長および企業価値の向上に資する事業投資に充当するため、必要な内部留保を行っていきます。当社の剰余金の配当は、中間配当および期末配当の年2回を基本的な方針としています。

1株当たり配当額



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

株主確定基準日
(1) 定時株主総会 3月31日
(2) 期末配当金 3月31日
(3) 中間配当金 9月30日
(4) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務
取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネット
ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社ホームページに掲載
<https://www.takamaz.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

お問い合わせ先 管理本部 企画経理部
TEL 076-274-1410(直通)
FAX 076-274-1418

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページのご案内

ホームページでは、様々な企業情報や展示会・イベント情報、IR情報をお届けしています。どうぞお気軽にアクセス、ご利用ください！

当社ウェブサイト「トップページ」

<https://www.takamaz.co.jp>



「株主・投資家情報」トップページ

